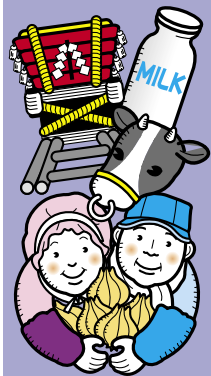


地域の催しや明るい話題などが
ございましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



自然観察公園オープン

新ちゃん公園



▲ため池の一部には、水中生物が住みやすいよう整備がされています

市新に4月3日、自然観察公園「新ちゃん公園」がオープンしました。こは以前からため池として利用されていましたが、ゴミや土砂が堆積し環境の悪化が進んでいたため、県のは場整備事業の一環で整備が行われました。同公園の名前は地元住民が親しみやすいようにと、地名からとつて名づけられました。



▲専用のバリカンで毛を刈ります

イングランドの丘

ヒツジの毛刈りショー

イングランドの丘で4月10日、ヒツジの毛刈りショーが行われました。ショーは温かなる季節に毎年恒例のイベントとして開催され、来場者の人気を集めています。ヒツジは毛を伸ばしたままだと病気や熱中症になってしまうため、この時期に毛刈りが行われます。約10分で作業が終了し、体重約50kgのヒツジから5kgの毛が刈り取られました。「この羊毛はクリスマスイベントの際、リースの材料として使用するほか、今後更に用途を模索していきたい」と飼育関係者は話していました。

おめでとう
声楽アンサンブルコンテスト全国大会 銅賞
アンサンブル下新庄 団体
[左から2人目]林裕子さん(神代)
[右端]林雄一郎さん(神代)



※3月21日、福島県で開催

全国大会に出場

◆全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会
中尾 玲華さん(三原中)
中川 さつきさん(三原中)
長岡 正大さん(三原中)
坂 莉奈さん(神代小)



※3月27日～30日出場
▲3月24日、壮行会が市役所中央庁舎で行われました

伊加利の獅子が装い新たに復活

伝統芸能復活

4月11日、伊加利八幡神社で春祭りが行われ、修繕された獅子による獅子舞が奉納されました。

同地区の獅子は、頭は黒塗りで胴体の麻布に馬の毛を巻きつけているのが特徴です。黒毛の雄と白毛の雌、2対の獅子が和太鼓の演奏に合わせて舞いを披露し、会場を沸かせました。

村上明祭礼団長は、「今後地域活性化につなげるため、この生まれ変わった獅子



▲新調された獅子で華麗な舞いが披露されました

初めての「3地区合同だんじり唄フェスタ」

古津路・北浜・西路の3地区合同



▲力強いだんじり唄や太鼓などが披露されました

地域間の垣根を越えて祭りの活性化と交流を図ろうと、松帆の古津路・北浜・西路の3地区では、今回初めて檀尻を一堂に集わせて祭礼団や子ども会によるだんじり唄や太鼓、獅子舞の共演を行いました。それぞれの地元の祭りが行われる4月4日午前、松帆活性化センターに集まり、賑やかに唄や太鼓を披露し合って盛り上がりを見せました。

この企画は、3地区の祭礼団の代表が話し合い、実行委員



▲松帆活性化センターに檀尻が集い賑わいを見せました

会をつくって取り組みを進めてきました。「来年以降も、より多くの地区に参加してもらい、松帆地区を祭りで活性化していきたい」と意欲を示しています。



▲熱戦を繰り広げる選手たち(大会結果は13頁)

県議会議長賞受賞

狭間 美季さん(阿万)

重度障害のある狭間美季さんが、「県障害者芸術・文化祭美術工芸作品公募展」書の部で入賞。「独りじゃない。いつも一緒」との想いを込め、136cm×70cmの和紙に「一緒」と書きました。



▶週1回通う「アリストスタジオ夢(洲本市)」で母和美さんと一緒に

成人式大賞

「優秀賞」受賞



▲表彰式に出席した山口敬敏実行委員長

新成人式研究会が主催する「第10回成人式大賞2010」で、実行委員会を中心に企画・運営を行った南あわじ市成人式が「優秀賞」に選ばれ、埼玉県で表彰を受けました。

淡路吹奏楽団、広田中学校と合同コンサート

ジョイントコンサート

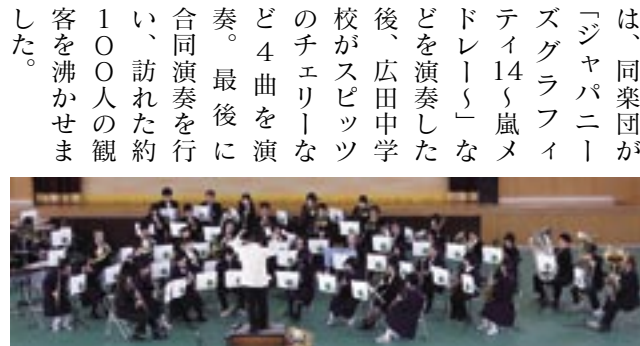


▲合同演奏する淡路吹奏楽団と広田中学校吹奏楽部

淡路吹奏楽団(吉田育造団長)が3月28日、広田中学校吹奏楽部と合同でジョイントコンサートを開催しました。

同楽団は、市内を中心とした吹奏楽愛好家が集まり、年に1度の定期演奏会や訪問演奏などを行っています。近年、

地元で演奏する機会が少なかったことから、共通の指揮者である山田高嗣さんが指導する広田中学校吹奏楽部と合同コンサートを企画しました。



▲総勢50人による合同演奏が行われました

第7回サンちゃんカップ

少女バレー大会を開催

第7回サンちゃんカップ・南あわじ近府県交流バレーボール大会が3月20日～21日、三原健康広場など7会場で行われました。試合には、島内外72の少女バレーボールチームが出場。大きな声を互いに掛け合い、一生懸命にボールを追いかけて、手に汗握る白熱した試合を繰り広げました。大会関係者は、「一人でも多くの児童が、バレーを続けこれからのバレー界を支えてもらいたい」と話していました。